

# 毛皮を買わないという選択を!

コートフード、バッグ、アクセサリ、マフラーなどについている毛皮(ファー)は、犬、猫、タヌキ、アライグマ、キツネ、ウサギ、ミンク、アザラシなどを殺してその皮をはいたもの。年間約1億頭が犠牲になっている。



## 繁殖・飼育

春に人工授精で生まれ、冬に殺されるまでの1年弱、狭く不潔な金網の檻に、飢え・暑さ・寒さなどの身体的苦痛と共に監禁される。ほとんどの動物が、ストレスと退屈さ、絶望感により、檻の中を回り続けたり首を振り続けるなど、精神に異常をきたしている。

怪我をしても治療はされず死ぬのを待つしかない。冬毛がはえたとき、檻から出され、殺される。一般的な殺害方法は、感電・溺死・首の骨を折る・叩き殺す・窒息などだ。中国では叩き殺されたり、意識のある状態で手足を切り取られ皮を剥がされることもある。(2005年~2010年の調査)

## 規制

残酷であるため、多くの国で繁殖禁止と販売禁止の法規制が整備されている。また、GAPやH&M、ユニクロなどグローバルなアパレル企業は毛皮を売らないと宣言をしている。

<http://www.No-Fur.org>

## あなたにできること=あなたにしかできなこと

- ・メーカー、ショップへ毛皮を使わないよう要望する
- ・毛皮(リアルファー)が使われた製品を買わない
- ・毛皮製品は反対意見と共にメーカーに送り返す

毛皮反対デモ行進: <http://www.no-fur.com>

# 動物は人間の実験台にはなれない

## 動物実験とは

猿・犬・猫・ウサギ・マウス・ラット・豚・羊など様々な動物が犠牲になる。化粧品/製薬/食品/日用品/化学物質などのため、身近な企業、大学、研究所で行われている。日本で犠牲になる動物の数は把握できるだけで年間1,133万頭以上にも及ぶ。(実数は倍以上と言われる)

年間犠牲動物数(一部のり)

犬:約9,000頭    マウス:約953万頭  
 猫:約1,000頭    ラット:約136万頭  
 猿:約11,400頭    ウサギ:約5万頭

参考:日本動物実験学会 2009年度

拘束する・癌細胞や菌を埋め込む・胃に薬剤を流し込む・絶食させる・体の一部を切り取る・頭蓋骨を割り脳に電極を埋め込む・一頭を殺し別の動物に臓器を移植するなど、一般には見るに耐えない異常な行為が、研究の名のもとに正当化される。

## 動物実験は非科学的

動物実験の歴史は、動物モデル作成の歴史だ。人間とチンパンジーやマウスの間には、越えられない大きな種差があり、かかる病気も、効く物質も、効かない物質も、奇形を生む物質も、危険な物質も、体内の代謝も全て異なる。いまだに、無理やり似た症状を作り出すにすぎず、実は、安全性も有効性も確かめられない。

## 日本の状況

日本には動物実験に対する規制がない。犠牲になる動物をできるだけ減らし、福祉を向上させるため、他国には何らか規制や仕組みがあるが、日本はどこでどのように行われているか、把握できない。

<http://www.NoMoreAnimalTests.com>

## あなたにできること=あなたにしかできなこと

- ・動物実験を行わないメーカーの製品を選ぶ
- ・動物実験データを疑う    ・動物実験の実態を人に伝える
- ・国、企業や研究所に数の削減と動物の福祉の徹底を求める

医学者による動物実験反対論: <http://www.nomoreanimaltests.com/jfma/>

# 動物園に行かないで!

## 動物は人のおもちゃじゃない

本来何百キロと移動し、家族との絆が強く、大自然の中で生きていた野生動物も、捕獲され家族と引き離され長い距離を運ばれ、狭い檻や水槽に監禁される。そして笑いながら見る人の目にさらされる。

また、サーカスなどで芸をする動物は裏で必ず残酷な調教を受けている。動物は自ら芸をしたりはしない。

人間にとって楽しい娯楽でも、動物にとっては虐待。動物園は、種の保存や教育のためといわれるが、種の保存に欠かせないのはその動物が住む地域での自然保護だ。自然とかけ離れた動物の姿は、子供たちに誤った自然観を植え付ける。動物を利用しない娯楽(テーマパークなど)はたくさんある。



## あなたにできること=あなたにしかできなこと

- ・動物園、水族館、動物を使ったサーカスに行かない
- ・動物を利用しない娯楽施設やイベントを選ぶ

## アニマルライツとは

アニマルライツとは、動物がその動物らしくいられる権利のこと。人間以外の動物であることは動物を犠牲になってもいいという理由にはならない。人間と同じように、精神的にも肉体的にも苦痛を感じる。人種や性別の差が命の質に重要でないように、毛の長さや形の違いも重要ではない。今、人間は動物を不当に利用し、搾取し虐待し、彼ら本来の生活を奪っている。

この厳しい状況は、私たち人間が動物や自然にほんの少しだけ譲歩し、相手を尊重し、思いやりを持って生活することで、改善することだ。

動物たちの運命は、あなたの選択にかかっている。

会員&ボランティア募集!

## 沈黙は動物の状況を悪くするだけ。反対の声を上げてください。

ARCIは、すべての動物が地球上で穏やかに共存できる社会を目指す非営利団体です。動物の現状を明らかにし、改善に務め、動物に優しいライフスタイルの提案を1987年から行っています。ARCIの活動に参加、または活動の支援をお願いします。